

## 榛原町

### 地形概況

静波海岸から数列の砂堆と堤間湿地をもつ海岸平野に閉塞された勝間田川や坂口谷川の低地は、後背湿地と谷底低地からなり、中流部には段丘も発達する。坂部原面は大沢原・布引原などの牧の原面と形成時期の異なる台地であり、侵食谷も発達する。

### 地質概況

牧の原台地には砂礫層が分布し、その基盤は泥岩や砂岩・その互層からなる掛川層群と相良層群からなっている。台地周辺には内湾性泥層の古谷泥層が分布する。高尾山と高根山付近の坂部原礫層は牧の原礫層より古い時期の堆積物である。沿岸低地は砂層・泥層よりなる。

### 気象概況

年平均気温は推定 15.8℃で、県内でも気温の高い地域である。年平均降水量は推定 2,300mm と県内のほぼ平均と見積もられ、特に春から夏季にかけて全降水量の約半分に達する。海陸風の循環によって、年間を通してしのぎやすい。

### 災害事例 地震

- 1944 年 12 月 7 日（昭和 19 年）東南海地震 M=7.9  
県中・西部で被害が大きかったが、当地でも、坂部で全壊 3 戸、半壊 2 戸、勝間田で半壊 8 戸、川崎で全壊 49 戸半壊 68 戸を出した。震度は勝俣藤沢・勝俣庄内で 6～7、静波 2～4 丁目・勝俣橋向で 6、坂部で 5～6、前玉・坂口・六本松・牧之原北・南・勝田上・切山下・朝生・細江・鹿島・道場・静波 10 丁目で 5 である。
- 1854 年 12 月 23 日（安政元年）安政東海地震 M=8.4  
全県下に被害を生じた。榛原付近では大地は泥水をはき、各村の家々はほとんど傾き倒れたが、山の手は軽微だった。川崎での死者 20 余人、負傷者 10 余人で破壊しない家は 3～4 戸であった。また朝生では全壊 15 戸であった。震度は川崎(静波)で 7、細江・勝間田・朝生で 6～7 である。

### 災害事例 津波

- 1854 年 12 月 23 日（安政元年）安政東海地震津波  
全県沿岸に被害があったが、川崎では 17～18 尺の津波が襲い、湊町は水漬となって家も少々流された。

### 災害事例 台風

- 1982 年 9 月 12 日（昭和 57 年）台風 18 号  
全県下風水害で当地では、死者 2 人、負傷者 4 人、全壊 1 戸、半壊 4 戸、床上浸水 206 戸、床下浸水 585 戸の被害が出た。